

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	肝臓のT1マッピングにおける脂肪抑制の影響の検討					
② 実施予定期間	実施許可日から 2025年3月31日					
③ 対象患者	以下の対象期間中に当院の対象診療科で肝臓のT1マッピング（T1値を測定できる画像）と脂肪含有率マップ（脂肪を定量評価できる画像）含む腹部MRI検査を受けられた患者さん					
④ 対象期間	2021年7月1日から 2022年5月31日					
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院					
⑥ 対象診療科	第一内科、第三内科、第一外科、第二外科、泌尿器科、放射線科					
⑦ 研究責任者	氏名 東 麻由美	所属	放射線科			
⑧ 使用する情報等	識別コード、年齢、性別、疾患名、MRI画像					
⑨ 研究の概要	<p>近年、生活習慣病や肥満の増加を背景に非アルコール性脂肪性肝疾患が増加しています。非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）の10-20%で炎症や線維化が惹起され、非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）となり、進行すると肝硬変や肝癌につながることから、NAFLDの患者さんにおいて早期に肝臓の炎症や線維化を診断することは、患者さんの予後改善に非常に有用であると考えられます。</p> <p>MRIにおいて、肝臓のT1値は線維化や浮腫、脂肪沈着などの病理組織学的变化を反映し、T1マッピングによる肝臓のT1値の定量評価は、肝硬変や慢性肝障害などの肝疾患の重症度の評価に有用です。肝疾患の重症度の指標となる線維化により肝臓のT1値が上昇しますが、脂肪沈着がある場合にもT1値が上昇するため、NAFLDのような肝臓に脂肪沈着を伴う疾患では、線維化の評価がしばしば困難になります。脂肪の影響を除いて線維化の評価を行うために、脂肪抑制法を利用したT1マッピングが開発されました。脂肪の影響やT1値の変化についてはまだ十分に検討されていません。</p> <p>本研究の目的は、Look-Locker法を用いて撮像された肝臓のT1マッピング（脂肪抑制あり/なし）におけるT1値を、肝臓の脂肪含有量と比較し、肝臓のT1マッピングにおける脂肪抑制法や脂肪沈着の影響を検討することです。脂肪の影響を除外した肝臓のT1値を正確に評価することは、様々な肝疾患の診断に臨床応用できるとともに、NASHの早期発見やフォローアップに役立つことが期待されま</p>					

	す。				
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2022年8月2日			
⑪ 研究計画書等の 閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。				
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。				
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。				
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。				
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。				
⑯ 利益相反	ありません				
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：東 麻由美				
	電話	0836-22-2285	FAX 0836-22-2285		